

※本プレスリリースは、現地時間 2019 年 2 月 18 日にドイツ・ハノーバー市で発表した内容の参考訳です。万が一、英文原文と意味合いが異なる部分がある場合には英文が優先されます。

2019 年 3 月 5 日
コンチネンタルタイヤ・ジャパン株式会社

コンチネンタルタイヤ、ツール・ド・フランス 2019 のメイン・パートナーに



コンチネンタルタイヤ(日本法人: コンチネンタルタイヤ・ジャパン株式会社、本社: 東京都品川区、代表取締役社長: グレゴリー・メイ)は、2019 年 7 月 6 日にベルギー、ブリュッセルで開催するツール・ド・フランスで、LCL(クレディ・リヨネ銀行)、E・ルクレール、Krys(クリス)、Skoda(シュコダ)とともに、メイン・パートナーの 1 社になることを発表しました。

コンチネンタル タイヤ部門 プレジデント兼コーポレート購買責任者 ニコライ・ゼッツァーは、次のように述べています。「ツール・ド・フランスのスポンサーであることは、当社の製品や企業価値と完全に合致します。世界最大の自転車ロードレースにおいて、1 年間オフィシャル・パートナー兼オフィシャル・タイヤスポンサーを務めた後、今回メイン・パートナーとしてより大きな役割を果たすことは、非常に大きな喜びです。これによって、私達のパートナーがステージで勝者となる度に、路上での安全性だけではなく、勝利への情熱を象徴するコンチネンタルのハイテク・タイヤは広く認知されていくでしょう」

さらに、ツール・ド・フランスの総合ディレクターであるクリスティアン・プリュドム氏は次のように述べています。「ツール・ド・フランスでは、日々、ステージの終わりに勝利の歓喜が沸き起こります。何度も勝利している選手でも、初めて勝利する選手でも、フィニッシュラインで両腕を挙げるとき、それは間違いなく彼らの人生において最高の瞬間です。コンチネンタルタイヤは、自らのイメージをこうしたスリルに結び付けていますが、そのスリルは、コンチネンタルタイヤというタイヤブランドによって最高レベルで守られている『性能』という概念に結びついています。ツール・ド・フランスの勝者達は、ブリュッセルからパリまで、サン＝テティエンヌ、ツールマレー、ニームを走りながら、コンチネンタルタイヤを定義する『エクセレンス』の探求の途上に自分たちがいることを認識することでしょう」



今年、6つのワールド・ツール・チーム(スカイ、FDJ[フランセーズ・デ・ジュール]、モビスター、バーレーン・メリダ、カチューシャ・アルペシン、サンウェブ)が、特別に設計され、ドイツのコルバツハ工場にてハンドメイドされたコンチネンタルタイヤの自転車用ハイエンドモデル「Competition Pro LTD(コンペティション・プロ・エル・ティール・ディ)」で参戦します。さらに、ツール・ド・フランスのオフィシャルカーのドライバーは、フランスのサルグミュー工場で生産されている、ハイパフォーマンス・コンフォート・タイヤの最新モデル「PremiumContact™ 6(プレミアム・コンタクト 6)」の性能を体験することになります。つまり、タイヤにおいて、ツール・ド・フランスは正にドイツ・フランスのサクセスストーリーと言えます。

コンチネンタルタイヤは、ツール・ド・フランスのメイン・パートナー5社のうちの1社として、ツール・ド・フランス開催期間中、常に露出を高めることができます。フィニッシュライン上のアーチおよびフィニッシュから1キロ手前の「フラム・ルージュ」アーチには、当社のロゴが掲載されます。また、各ステージにおいて、当社の代表が壇上でステージ勝者にトロフィーを贈呈します。

コンチネンタルタイヤはハイテク企業として、ツール・ド・フランスとのパートナーシップを、交通事故による死者ゼロ、負傷者ゼロ、最終的に交通事故そのものがゼロの世界を目指す「ビジョン・ゼロ」戦略の推進にも利用します。今年もレースの高い人気を活用し、「Sharing the Road(道路の共有)」および「Stay Wider of the Rider(車間を広くあけた走行)」キャンペーンを通して、ドライバーやサイクリストへお互いへの配慮を呼びかけていきます。またウェブサイトでは、ステージ毎に、ツアーのファンが安全に移動できるように、有益な情報を掲載していきます。さらに、ルート沿いに駐車している車両に、選手が通過する前の十分な時間を使って、無料のタイヤチェックを行います。コースにおいては、危険な曲がり角にコンチネンタル・イエローの警告サインを掲出し、選手やサポートカーのドライバーの注意を喚起しますが、これはツール・ド・フランス史上初めてのことです。

コンチネンタルタイヤのタイヤ製造の歴史は、空気入り自転車用タイヤを初めて生産した1892年にまでさかのぼります。自動車用空気入りタイヤは、1898年に生産を開始しました。これによりコンチネンタルタイヤは、ドイツで最も歴史と伝統のあるタイヤメーカーとなっています。今日、コンチネンタルタイヤは、二輪車および自動車用タイヤにおいて、同一技術を共有することで、製品のさらなる強化を推進しています。例えば、「ブラック・チリ」コンパウンドは、自転車用タイヤで開発された技術ですが、乗用車のハイパフォーマンス・タイヤにも採用されており、優れたグリップ性能を発揮します。

【コンチネンタル社について】

コンチネンタルは、人とモノの持続可能なコネクテッドモビリティに関わる先進的な技術やサービスを開発しています。1871年の創業以来、テクノロジーカンパニーとして、安全性、効率性、インテリジェンスを兼ね備えたアフォーダブルなソリューションを自動車、機械、交通、輸送のために提供しています。2018年度の売上高は約444億ユーロで、世界61の国と地域に24万4千人以上の従業員を擁しています。

<https://www.continental-corporation.com/en>

【コンチネンタル タイヤ部門】

コンチネンタル タイヤ部門は現在、全世界に 24 カ所の生産および開発拠点を有しています。約 5 万 4 千人の従業員を擁する世界有数のタイヤメーカーであり、2017 年には 113 億ユーロの売上げを計上しました。

タイヤ製造の技術リーダーであり、乗用車、商用車、二輪車の幅広い製品ラインを提供しています。コンチネンタルは、研究開発への継続的な投資により、経済的で環境にやさしいモビリティに大きく貢献しています。タイヤ部門のポートフォリオには、商業車用タイヤのデジタル管理システムだけでなく、タイヤ取引および車両アプリケーション向けのサービスも含まれます。

<https://www.continental-tires.com>

日本語公式サイト: <https://www.continental-tire.jp>

日本語公式 Facebook ページ: <https://www.facebook.com/continental.japan>

日本公式 YouTube ページ: https://www.youtube.com/channel/UC2mp8bKnBuBVFz55tLsM_Xg